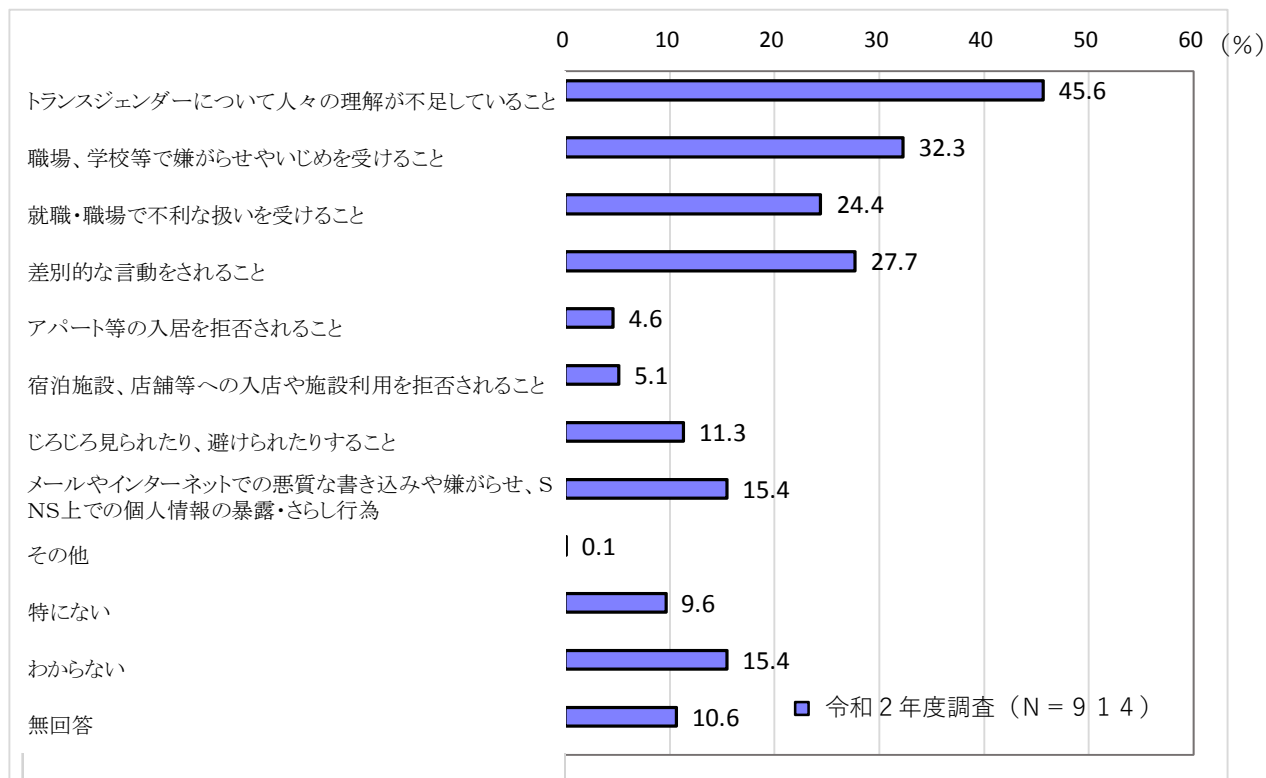


(10) トランスジェンダーに関する人権上の問題点と見聞

(ア) トランスジェンダーに関する人権上の問題点

問14 あなたは、トランスジェンダー(生まれたときに法律的、社会的に割り当てられた性別にとらわれない性別のあり方をもつ人)に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

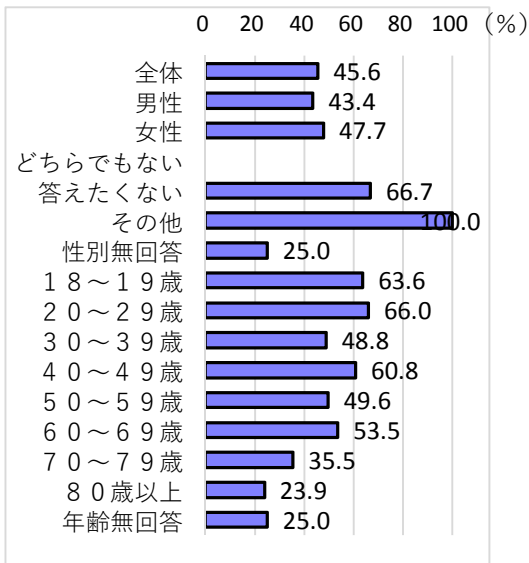
図14-1-1 トランスジェンダーに関する人権上の問題点 (全体)



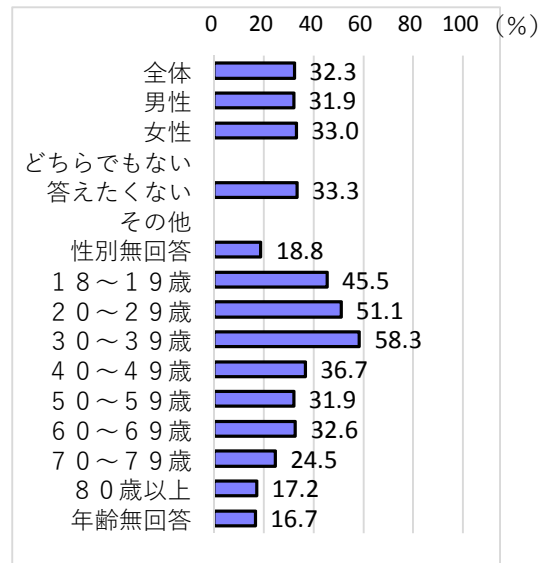
トランスジェンダーに関する人権問題を尋ねたところ、「トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること」と答えた人が45.6%で最も高く、次いで、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(32.3%)、「差別的な言動をされること」(27.7%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(24.4%)、「メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」(15.4%)と続いている。

図14-1-2 トランスジェンダーに関する人権上の問題点（性・年齢別）

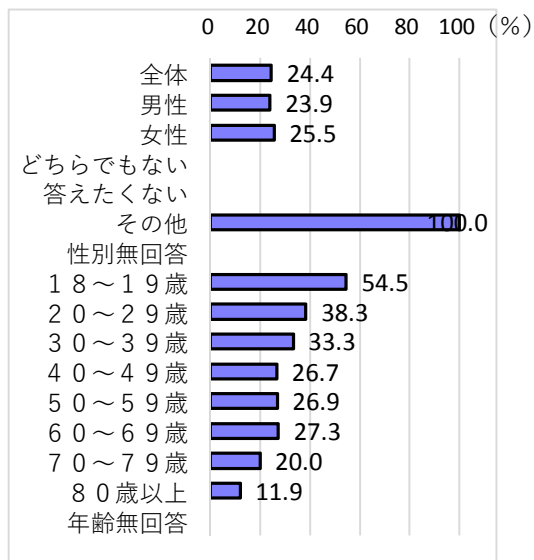
トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること



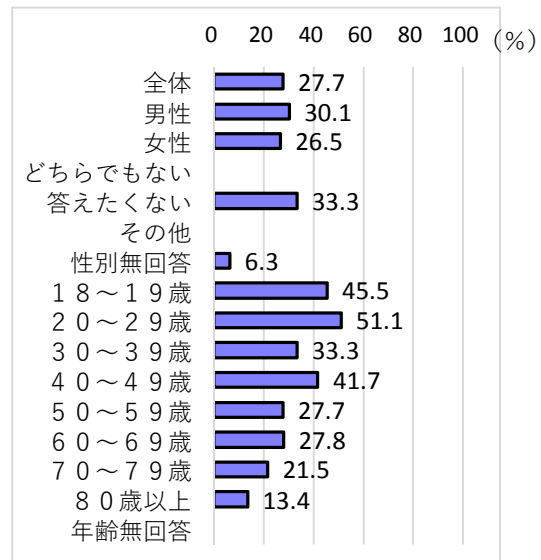
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること



就職・職場で不利な扱いを受けること



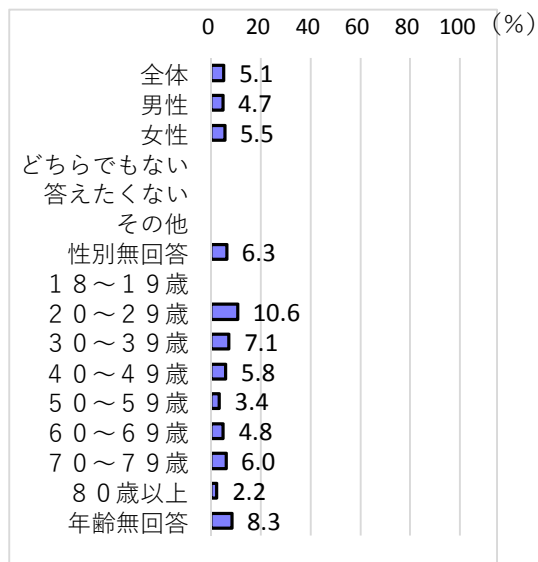
差別的な言動をされること



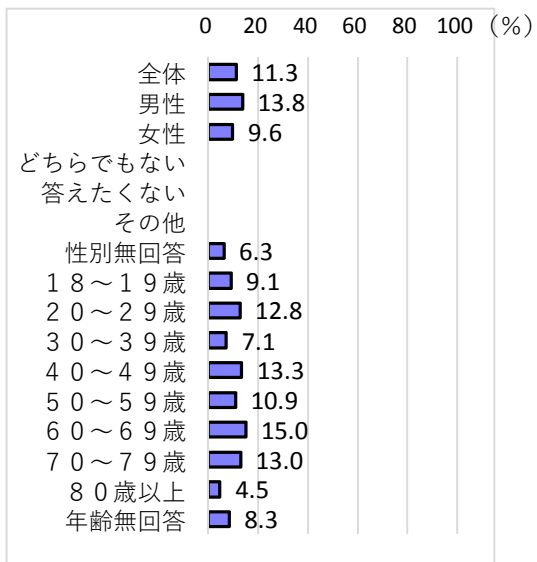
アパート等の入居を拒否されること



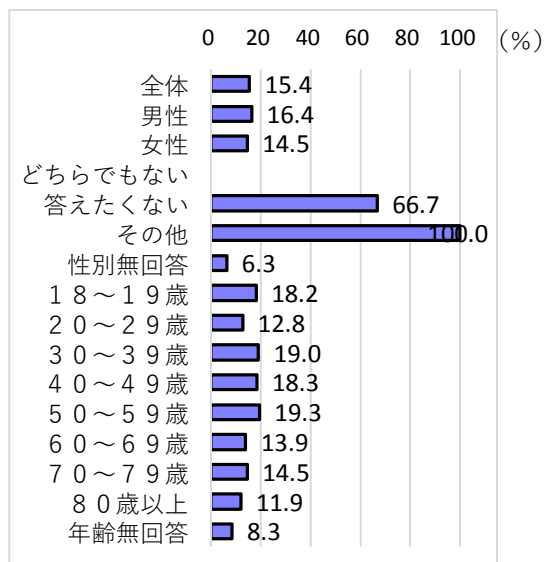
宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること



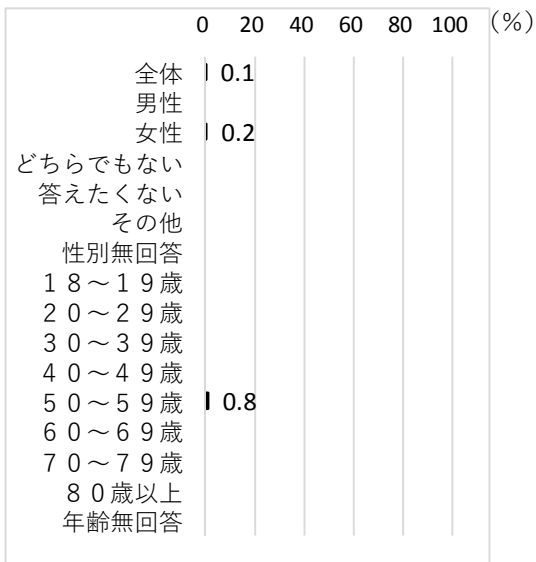
じろじろ見られたり、避けられたりすること



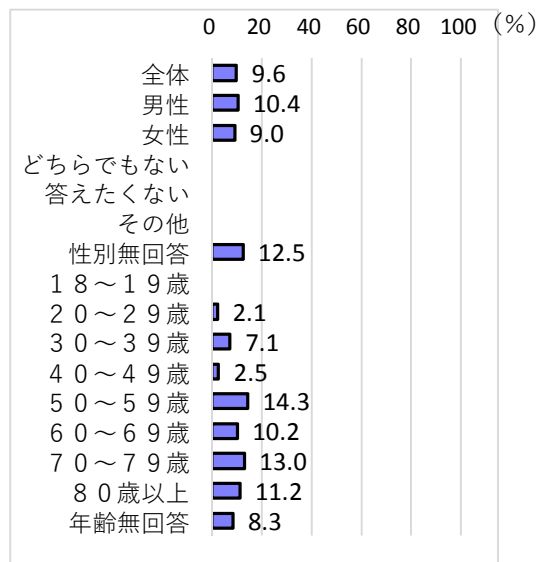
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



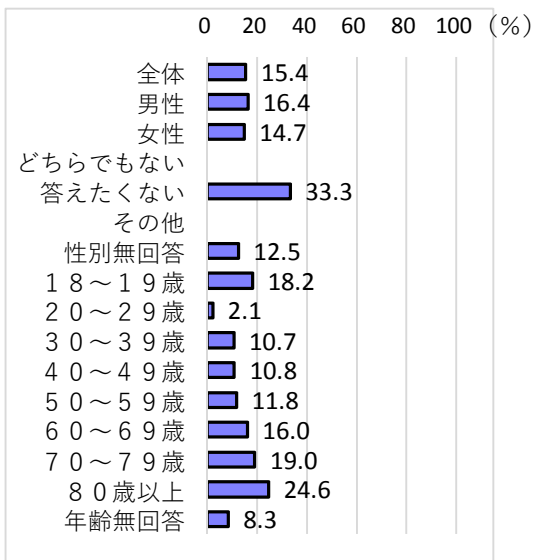
その他



特にない



わからない



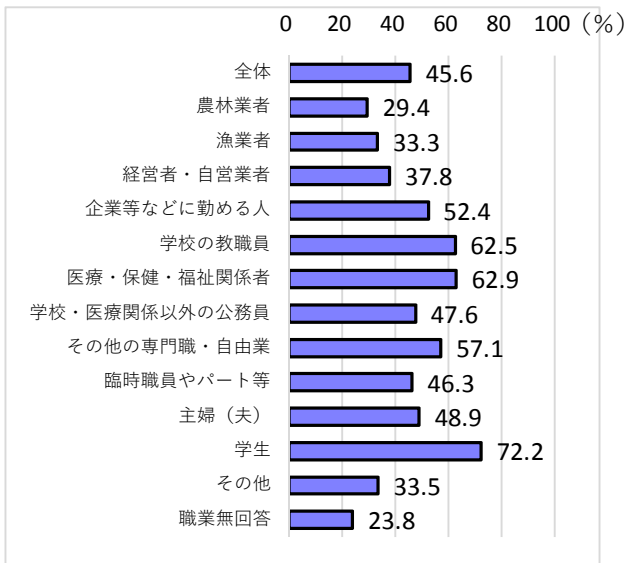
全体	(N=914)
男性	(N=385)
女性	(N=509)
どちらでもない	(N=0)
答えたくない	(N=3)
その他	(N=1)
性別無回答	(N=16)
18～19歳	(N=11)
20～29歳	(N=47)
30～39歳	(N=84)
40～49歳	(N=120)
50～59歳	(N=119)
60～69歳	(N=187)
70～79歳	(N=200)
80歳以上	(N=134)
年齢無回答	(N=12)

トランスジェンダーに関する人権上の問題点について性別にみると、男女ともに「トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること」の回答割合が最も高くなっている。また、男性は女性に比べ「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(4.2ポイント差)の回答割合が高く、女性は男性に比べ「トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること」(4.3ポイント差)の回答割合が高くなっている。

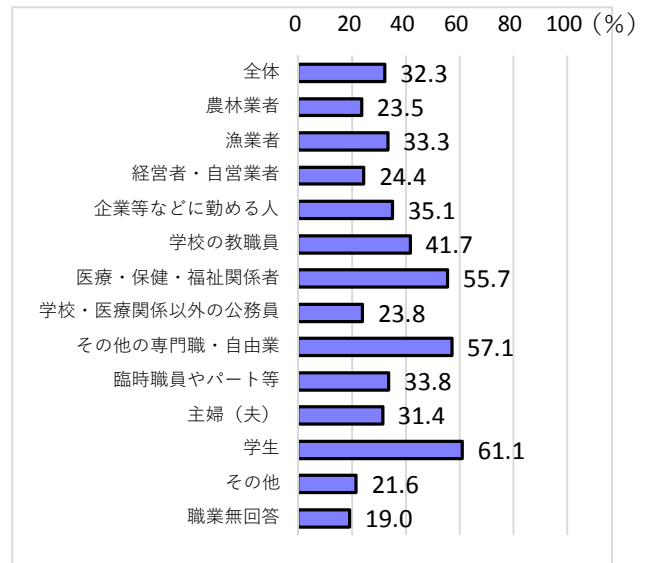
年齢別にみると、30歳～39歳以外の年齢で「トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること」の回答割合が最も高くなっており、20歳～29歳は66.0%となっている。また、30歳～39歳では「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(58.3%)の回答割合が最も高くなっている。

図14-1-3 トランスジェンダーに関する人権上の問題点（職業別）

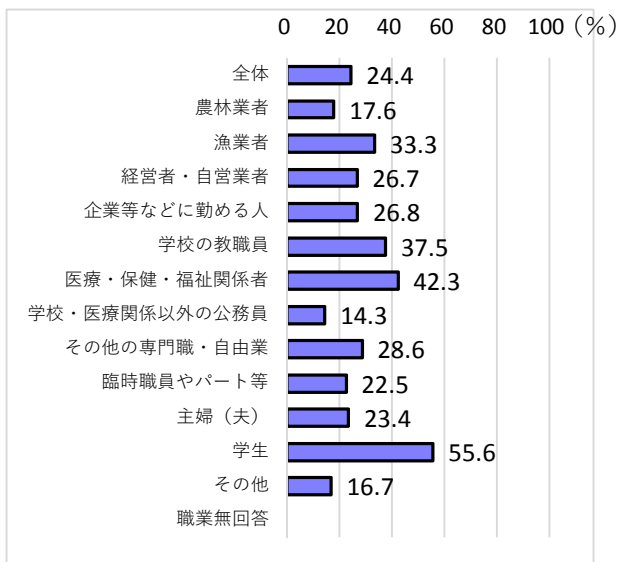
トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること



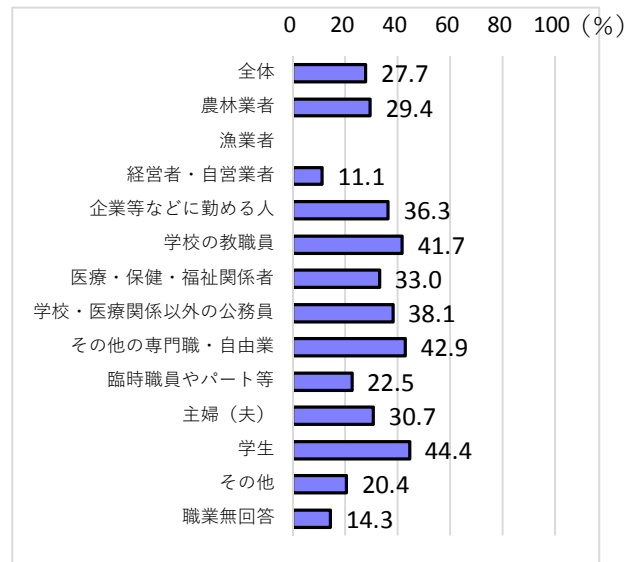
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること



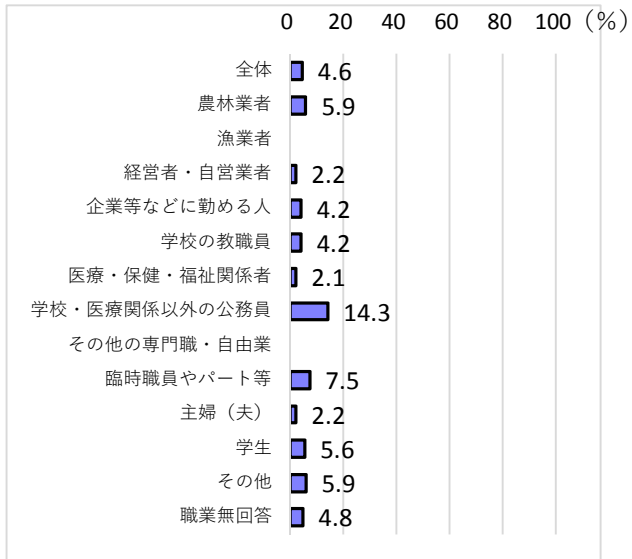
就職・職場で不利な扱いを受けること



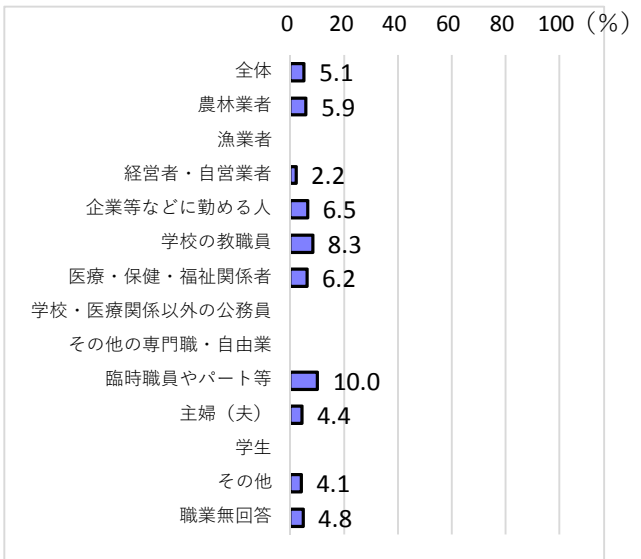
差別的な言動をされること



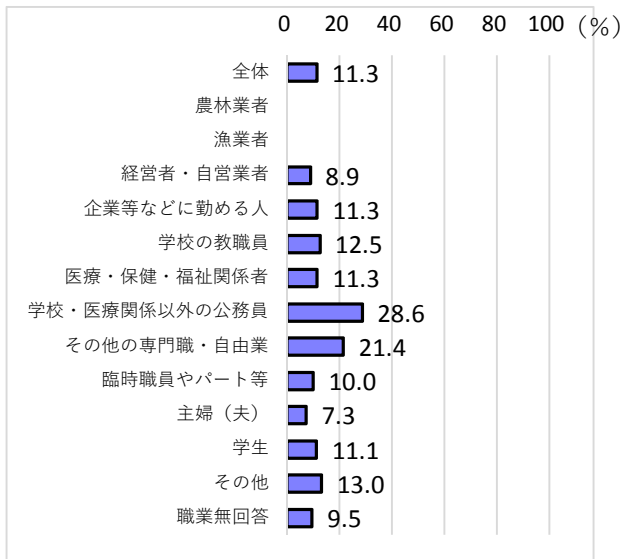
アパート等の入居を拒否されること



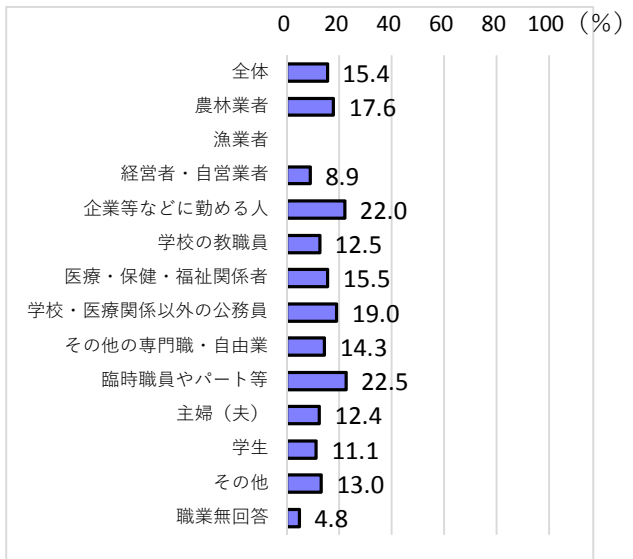
宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること



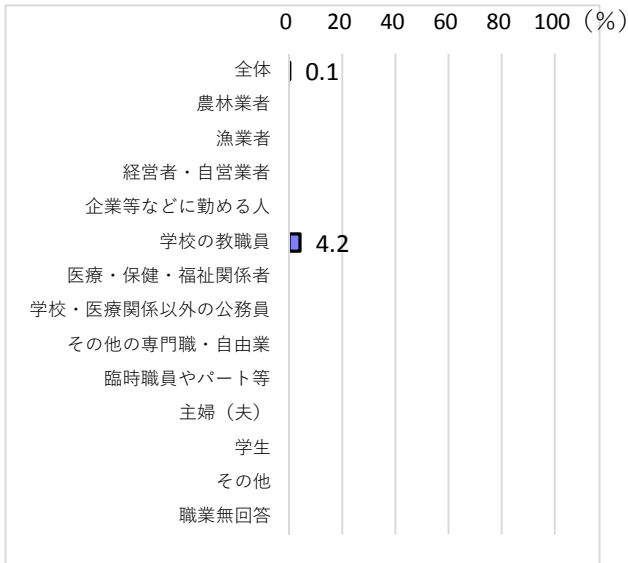
じろじろ見られたり、避けられたりすること



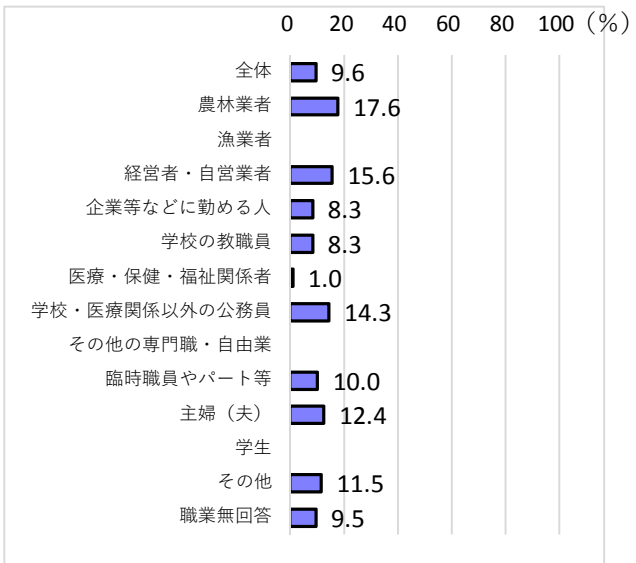
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



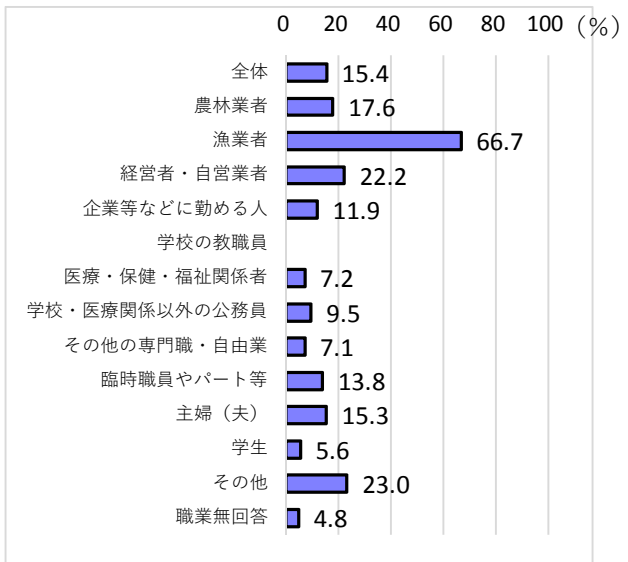
その他



特にない



わからない



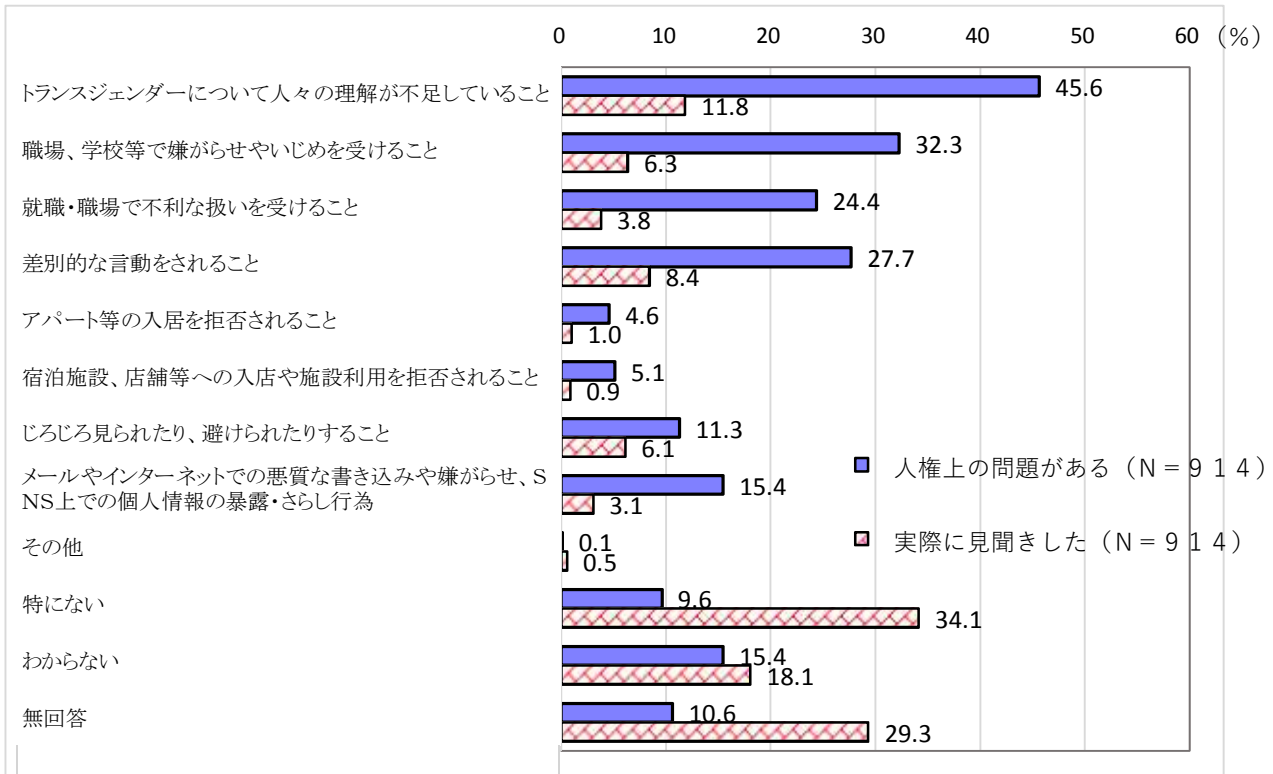
全体	(N=914)
農林業者	(N=17)
漁業者	(N=3)
経営者・自営業者	(N=45)
企業等に勤める人	(N=168)
学校の教職員	(N=24)
医療等の関係者	(N=97)
その他の公務員	(N=21)
他の専門職・自由業	(N=14)
臨時職員・パート等	(N=80)
主婦(夫)	(N=137)
学生	(N=18)
その他	(N=269)
職業無回答	(N=21)

トランスジェンダーに関する人権上の問題点について職業別にみると、すべての職業において「トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること」の回答割合が最も高くなっており、学生は72.2%と他の職業の回答割合に比べて高くなっている。また、学生は「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(61.1%)の回答割合も他の職業に比べて高くなっている。

(イ) トランスジェンダーに関する人権問題を見聞きした経験

問14 また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたのがありますか。(✓は3つまで)

図14-2-1 トランスジェンダーに関する人権問題を見聞きした経験 (問題点・見聞比較)

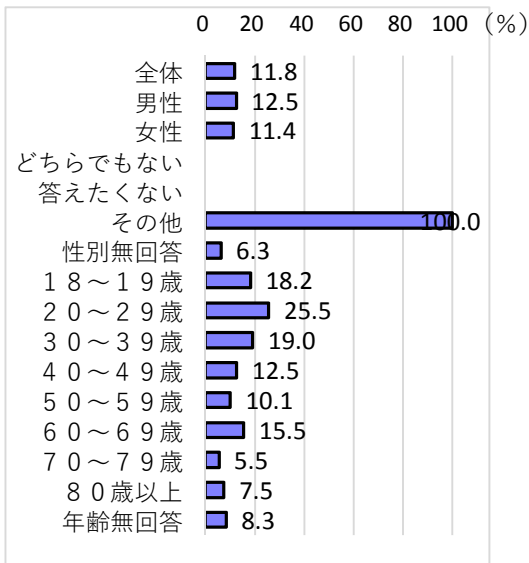


トランスジェンダーに関する人権問題について「見聞きした経験」をみると、「トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること」と答えた人が11.8%、次いで、「差別的な言動をされること」(8.4%)、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(6.3%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(6.1%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(3.8%)と続いている。

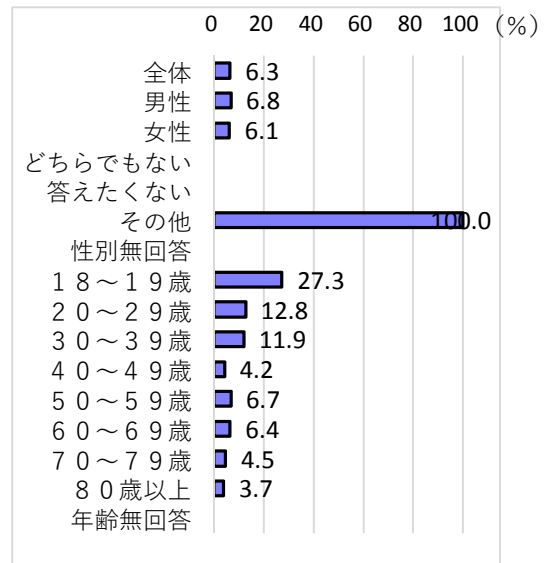
また、トランスジェンダーに関する人権問題について「見聞きした経験」と「問題点」を比較すると、具体的な事象を表す選択肢の回答割合については、すべて「見聞きした経験」が、問題点の回答割合を下回っている。「アパート等の入居を拒否されること」については、「見聞きした経験」の回答割合と「問題点」の回答割合が、3.6ポイント差と近似値になっている。

図14-2-2 トランスジェンダーに関する人権問題を見聞きした経験（性・年齢別）

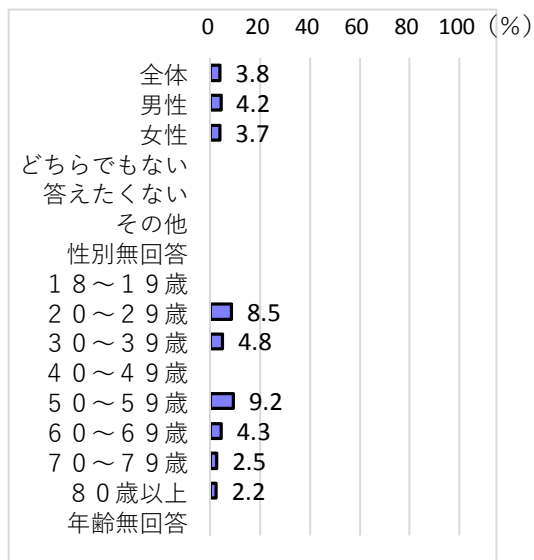
トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること



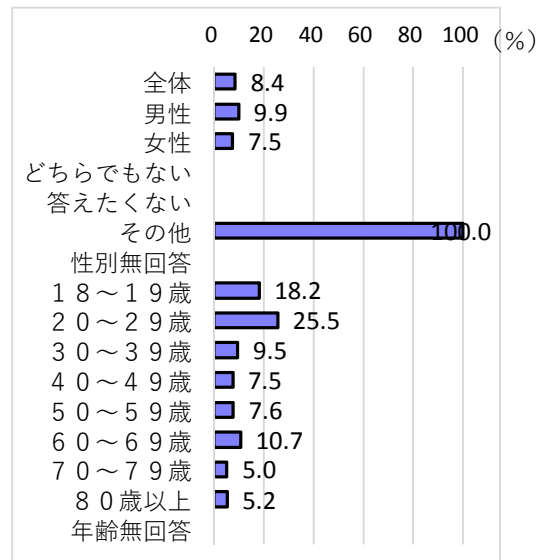
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること



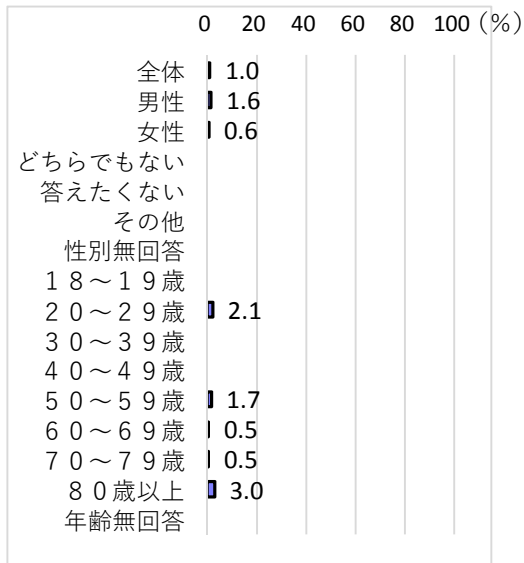
就職・職場で不利な扱いを受けること



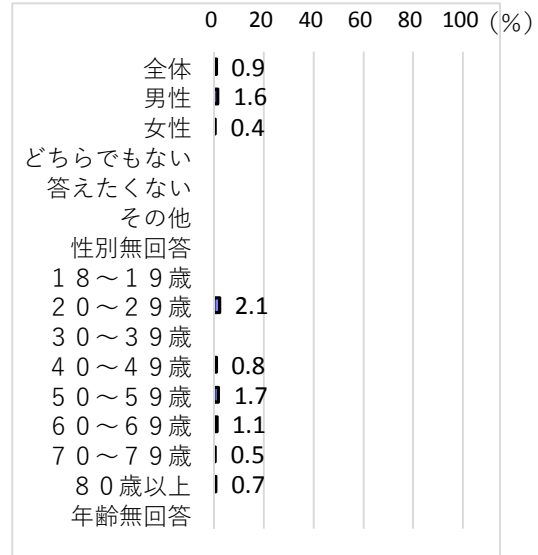
差別的な言動をされること



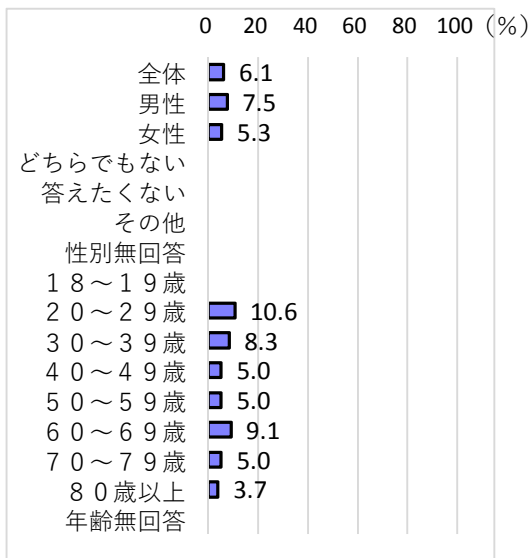
アパート等の入居を拒否されること



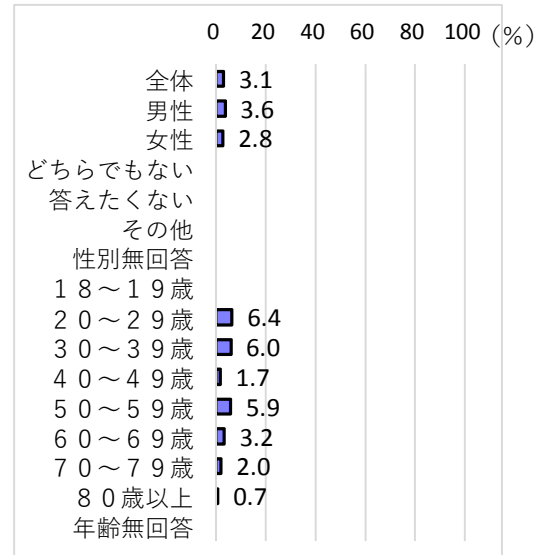
宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること



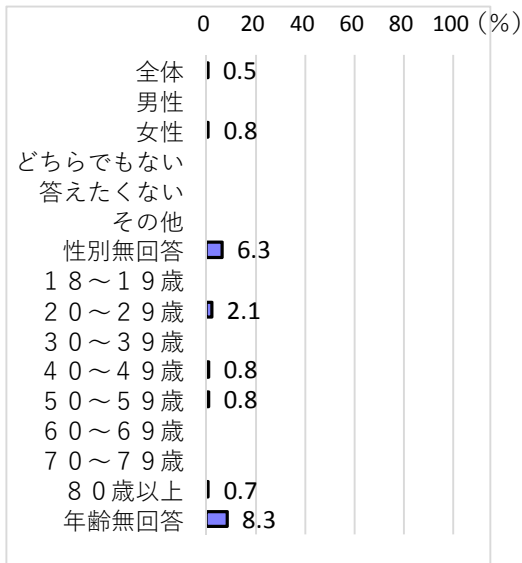
じろじろ見られたり、避けられたりすること



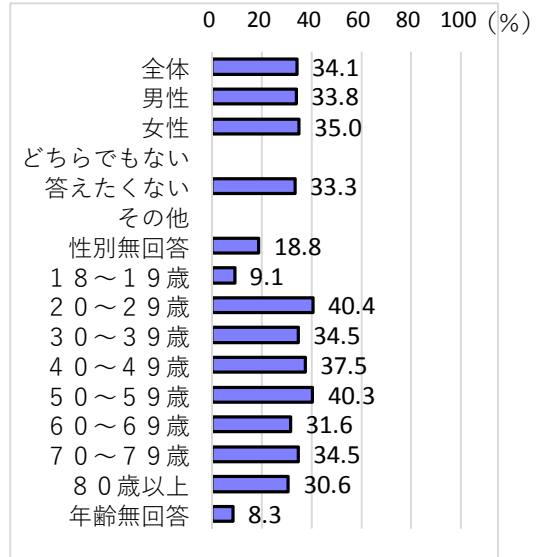
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



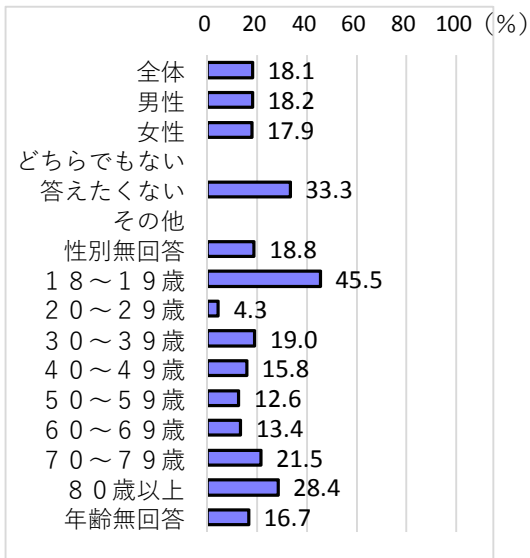
その他



特にない



わからない



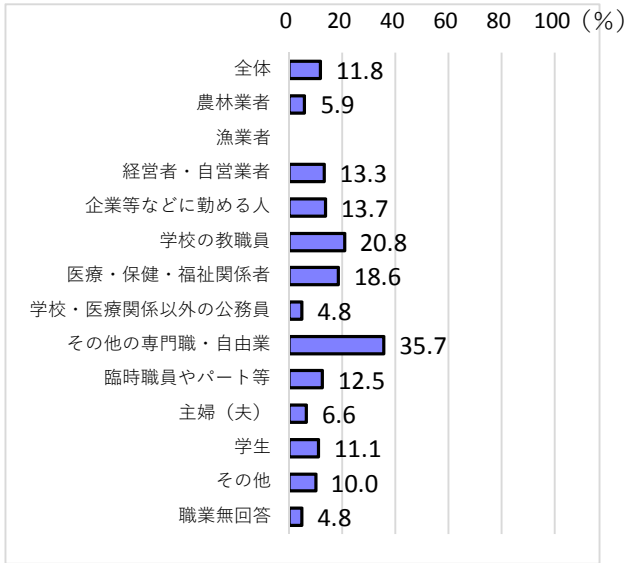
全体	(N=914)
男性	(N=385)
女性	(N=509)
どちらでもない	(N=0)
答えたくない	(N=3)
その他	(N=1)
性別無回答	(N=16)
18～19歳	(N=11)
20～29歳	(N=47)
30～39歳	(N=84)
40～49歳	(N=120)
50～59歳	(N=119)
60～69歳	(N=187)
70～79歳	(N=200)
80歳以上	(N=134)
年齢無回答	(N=12)

トランスジェンダーに関する人権問題の「見聞きした経験」について性別にみると、男女ともに「トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること」の回答割合が最も高くなっている。

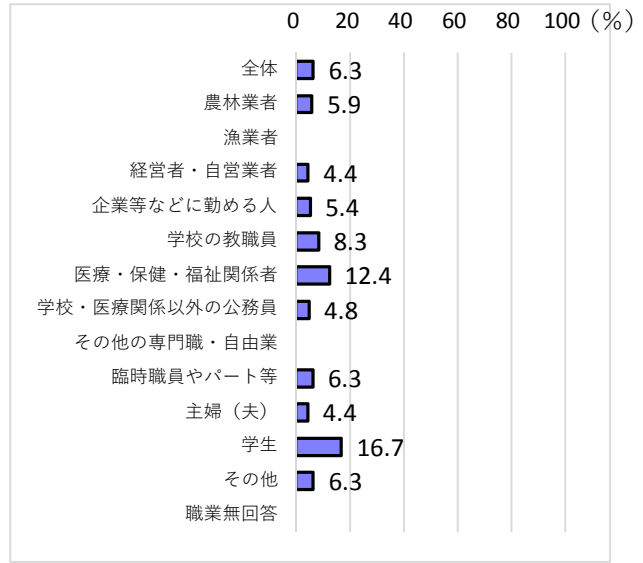
年齢別にみると、20歳以上では「トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること」の回答割合が最も高く、18歳～19歳では「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(27.3%)の回答割合が最も高くなっている。

図14-2-3 トランスジェンダーに関する人権問題を見聞きした経験（職業別）

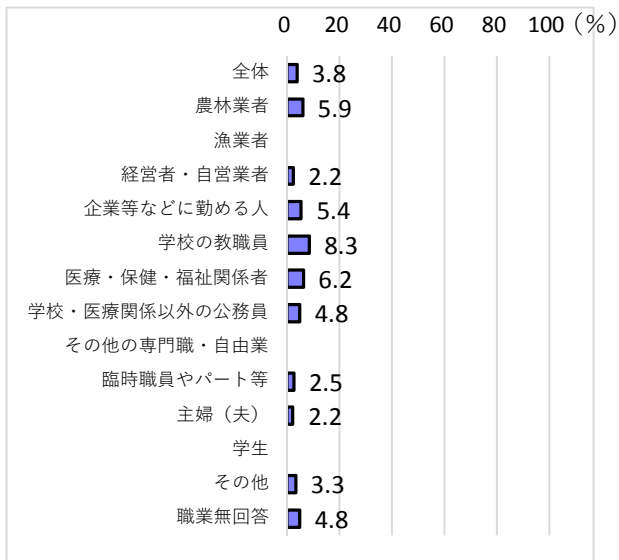
トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること



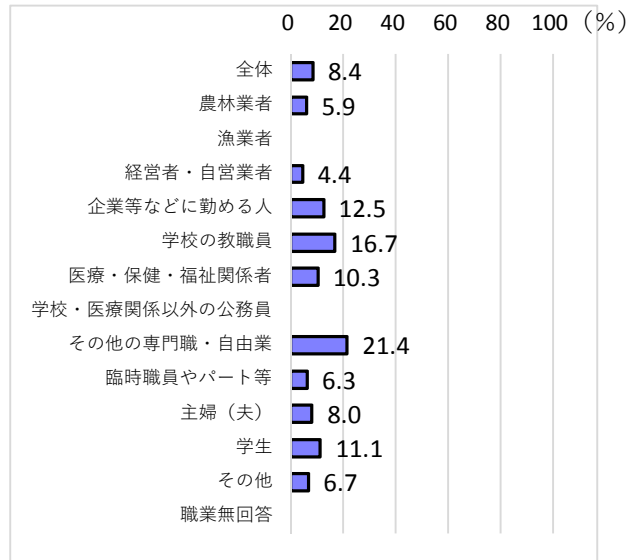
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること



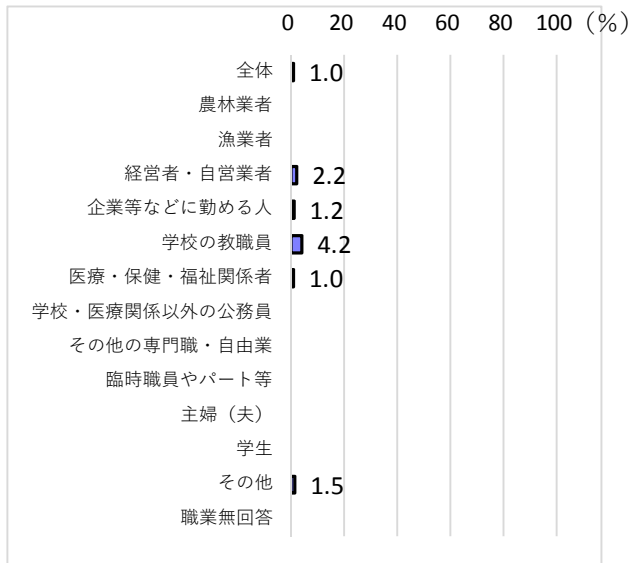
就職・職場で不利な扱いを受けること



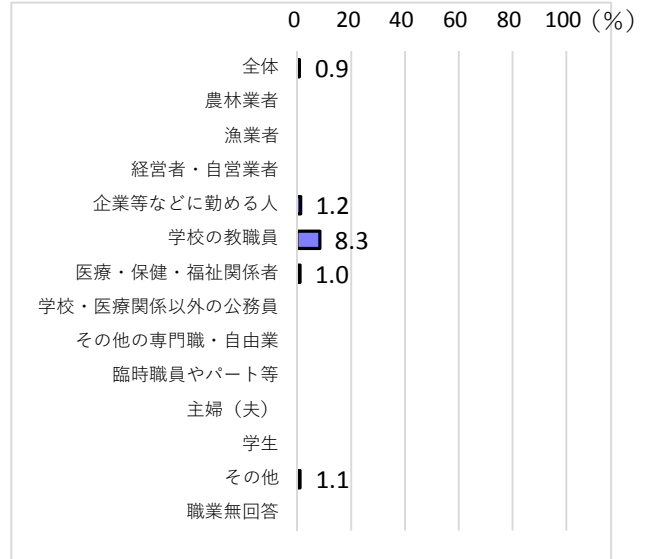
差別的な言動をされること



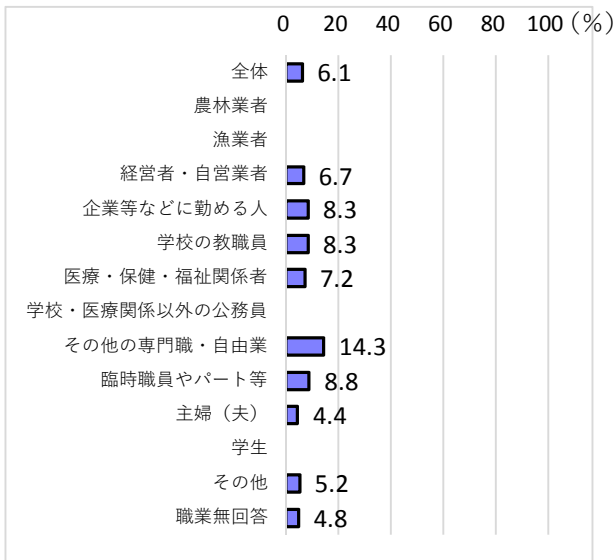
アパート等の入居を拒否されること



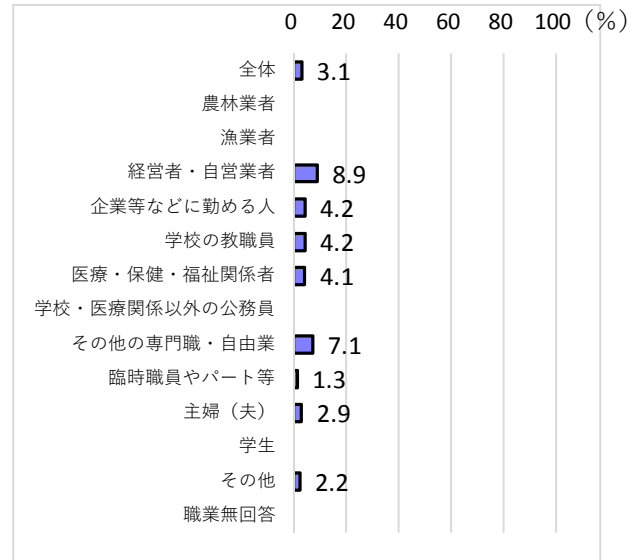
宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること



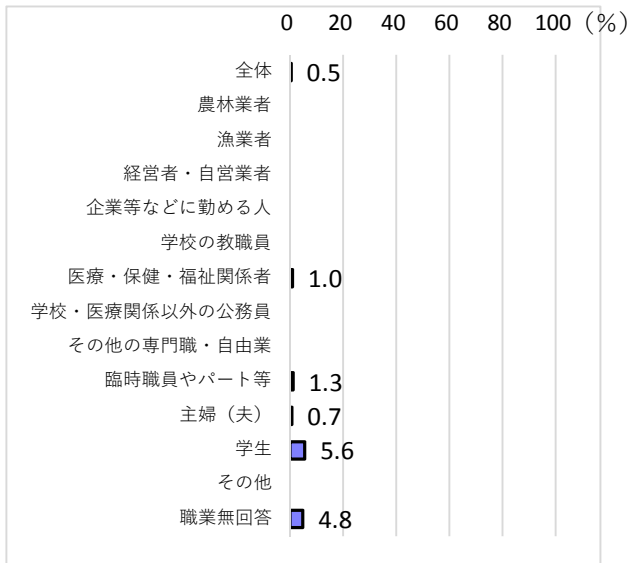
じろじろ見られたり、避けられたりすること



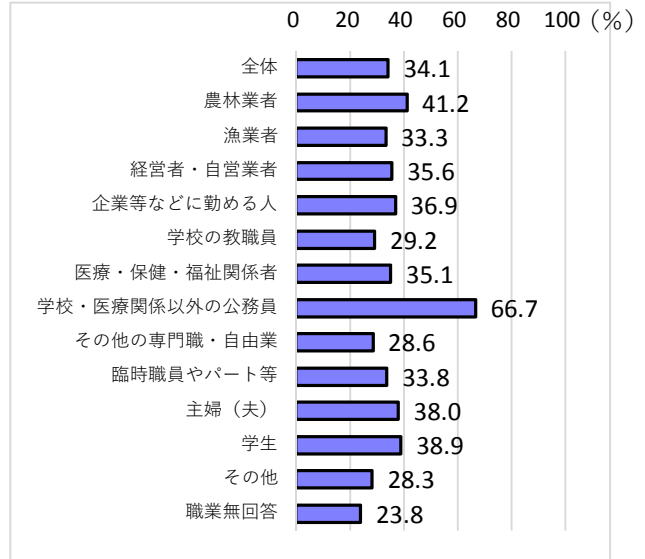
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



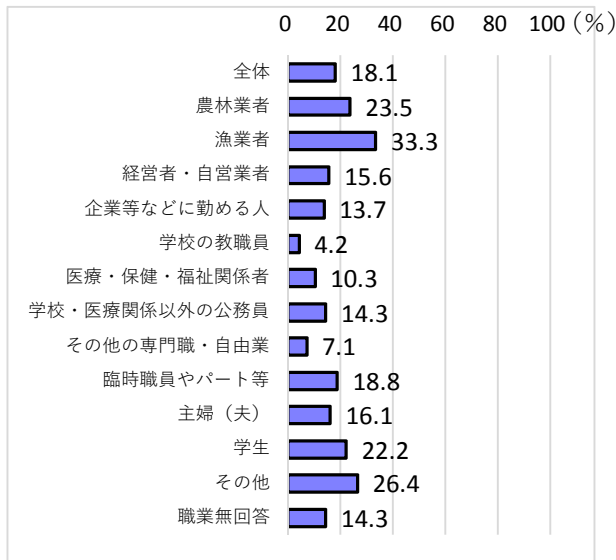
その他



特にない



わからない



全体	(N=914)
農林業者	(N=17)
漁業者	(N=3)
経営者・自営業者	(N=45)
企業等に勤める人	(N=168)
学校の教職員	(N=24)
医療等の関係者	(N=97)
その他の公務員	(N=21)
他の専門職・自由業	(N=14)
臨時職員・パート等	(N=80)
主婦(夫)	(N=137)
学生	(N=18)
その他	(N=269)
職業無回答	(N=21)

トランスジェンダーに関する人権問題の「見聞きした経験」について職業別にみると、大半の職業において「トランスジェンダーについて人々の理解が不足していること」の回答割合が最も高くなっており、その他の専門職・自由業は35.7%となっている。また、主婦(夫)では「差別的な言動をされること」(8.0%)、学生は「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(16.7%)の回答割合が最も高くなっている。